

～ミュージアム寺子屋事業～

●古文書教室

江戸時代郡中総代を務めた松木家に伝わる古文書を教材としてみんなで読解しようとするものです。

テーマ 「郡中総代松木家の古文書を紐解く」
講師 武井一郎・清水正賢
開催日 6月6日(日)・7月11日(日)・8月8日(日)・
9月12日(日)・10月10日(日)

●歴史教室

江戸時代に編纂され、現代でも郷土研究の貴重資料として活用され続ける『甲斐国志』について、編纂経緯や内容の検証、現況対比などを加えて解説いたします。

テーマ 『甲斐国志』を語る
講師 内藤恭義
開催日 6月～10月の第4日曜日
○開催時間(古文書教室・歴史教室ともに)
午前10時～11時30分(1時間半程度)

○開催場所(古文書教室・歴史教室ともに)
都留市博物館「ミュージアム都留」研修室

●芭蕉月待講座「山口素堂 ―学識と文学―」

日程 7月～10月 第4火曜日
午後6時30分～7時30分
講師 楠元六男(都留文科大学教授)
内容 第1回 7月27日 「元禄俳壇と素堂」
第2回 8月24日 「素堂のすばらしさ」
第3回 9月28日 「句の実際」
第4回 10月26日 「展示の面白さ」
○開催場所は全て
都留市博物館「ミュージアム都留」研修室

問合先 都留市博物館「ミュージアム都留」 ☎(45)8008/8608 F A X (45)8201

「能」は今から約六百年前、室町時代に確立され、現在では日本を代表する伝統芸能の一つとして親しまれています。「能装束」とは能で使われる衣装のことを言います。様々な色彩と文様はまさしく能の「美」を代表するものであります。

初期の能装束は質素なものでありましたが、室町時代末期から徐々に豪華絢爛になり、江戸時代に形式が定まり、様式的にも完成しました。華やかに舞台を演出し華麗な世界をつくりあげる「能装束」は、その種類と着装の仕方によって、人物の役割(位・性別・職業)などを表しています。

今回の企画展では能装束のなかでも「女性達の装束」に着目し展示致します。また装束以外にも面や帯などの展示も行います。華麗な「能装束」の鑑賞と古き良き日本の伝統文化について親しみ、触れてください。



べにあききだんあきくさからおり
紅浅黄段秋草唐織

会期 6月2日(水)～30日(水)まで
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 月曜日・第三火曜日
入館料 一般 300円(210円)
高・大学生 200円(140円)
小・中学生 100円(70円)
()内は20名以上の団体料金
※分館増田誠美術館と共通券です。

「能装束展」女性達の装束

うぐいすホール 催し物案内

市制50周年記念事業

6/27(日) ものまねエンターテイメント コロケコンサート2004

- 午後2時30分/午後6時30分開演(昼/夜2回公演)
- 全席指定 5,300円(会員5,000円)
バルコニー席 4,500円(一律)
- 送迎バス 都留市駅前 午後2時/6時発(片道200円)

7/16(金) マンボの王様 ベレス・ブラード楽団演奏会

- 午後7時開演
- 全席指定 S席5,000円(会員4,500円) / A席3,000円(一律)
- プログラム
マンボNo.5、闘牛士のマンボ、ある恋の物語ほか
- 送迎バス 都留市駅前 午後6時30分発(片道200円)
- 未就学児の入場はご遠慮ください。

7/3(土) ベルリン交響楽団演奏会 ～頂点を極める2大シンフォニー～

- 午後3時開演
- 全席指定 S席6,000円(会員5,500円) / A席4,000円(一律)
- プログラム
ドヴォルザーク『新世界』、
ベートーヴェン『エグモント』『運命』
- 送迎バス 都留市駅前 午後2時30分発(片道200円)
- 未就学児の入場はご遠慮ください。

8/1(日) レニングラード国立舞台サーカス

- 午後1時/午後4時開演(昼/夕2回公演)
- 全席自由
大人2,500円・高校生以下1,800円(入場時、要学生証)
- ※2歳以下のお子様で保護者の膝上でご覧いただく方は無料
- 送迎バスはございません。